

令和6年度 林業普及週間現地情報 (3/3～3/7)

森林管理課

造林地視察について

3月6日(木)

宮古島市では、水源涵養や自然環境保全等の森林のもつ公益的機能の維持・向上を目的に、複層林の整備を実施している。

そこで、複層林施業に関して、知見を広げ、より適切な森林施整備に繋げることを目的として、令和7年3月6日に名護市および今帰仁村の造林地視察を実施した。

名護市の造林地（複層林）では、北部農林水産振興センター佐野主任及び國吉技師に、現場概要や事業における留意点、作業者の意見等について説明をしていただいた。視察には、宮古森林組合の職員1名、作業員2名が同行し、宮古とは異なる地形や樹種等に驚きながらも、造林地を見て回り、質問するなど、活発な情報収集をしていた。

今帰仁村のクスノキ造林地では、「育成木施業（将来、価値が高くなると見込まれる優良木に焦点を当て、その木の回りを間伐していきながら育成することで、質の高い大径木を育てる方法）」を実施しており、その考え方や現地の状況等を視察した。宮古島市の大野山林内にあるアカギ造林地では、28年生～32年生に達し、今後の保育が課題となっているため、当該造林地の施業内容は、有益な情報であった。

今後も、他の事務所や関係機関と協力しながら、積極的に交流を行い、宮古地域における適切な森林整備に繋げていきたい。



造林地視察の様子
(上：広葉樹、下：イジュ)



造林地視察の様子
(クスノキ)

(報告者：宮古農林水産振興センター 山城、仲宗根、玉城)